

研究成果情報

【ときめき】 No.478 号
2026 年 9 月 14 日
島根県農業技術センター

島根県オリジナル水稻新品種 ‘つぶきらり’

【要旨】本県オリジナル水稻新品種の名称は、公募により ‘つぶきらり’ に決定しました。
‘つぶきらり’ は、‘コシヒカリ’ と同熟期で、高温に強く、大粒で、品質に優れます。

#つぶきらり#高温登熟性#オリジナル#水稻新品種

近年、高温登熟による白未熟粒の増加が主要因となり、本県の主食用米における一等米比率は大きく低下しています。特に、平坦部 ‘コシヒカリ’ の品質低下は顕著であることから、この熟期の高温に強い品種の導入が強く求められています。

【研究の成果】

‘コシヒカリ’ と同熟期で、高温登熟性に優れた高品質・良食味の品種育成を目的として、2016 年に“越南 258 号”と“新潟 110 号”を人工交配し、その後、選抜等に取り組んできた結果、高温条件でも品質が優れる新品種 ‘つぶきらり’ が誕生しました(図 1)。

【名前の由来】

‘つぶきらり’ は、「つぶ」という言葉から米粒の大きさ・存在感が伝わり、「きらり」という言葉から炊き上がりのツヤとおいしさが連想され、「つぶきらり」という言葉の響きが、夏の強い日差しを跳ね返すような爽やかさと暑さに負けず光り輝く稲穂の力強さを感じさせることから、命名されました。

【‘つぶきらり’ の特性】

- ・収穫時期は ‘コシヒカリ’ と同等かやや早い。
- ・高温登熟性は「やや強」で高温に強い。
- ・白未熟粒が少ないため、整粒割合が高く、検査等級が優れる。
- ・食味官能評価では外観、味および粘りに優れ良好。
- ・大粒で千粒重が重く、‘コシヒカリ’ より 1.2 倍多収。

表1 ‘つぶきらり’ の特性

品種名	つぶきらり	コシヒカリ
出穂期(月.日)	7.26	7.26
成熟期(月.日)	8.27	8.29
稈長(cm)	82.3	88.1
穂長(cm)	18.8	19.8
穂数(本/㎡)	445	464
収量(kg/10a)	657	534
千粒重(g)	25.1	21.7
登熟歩合(%)	90.2	77.7
検査等級	1等下	3等上
耐倒伏性	やや強	弱
葉いもちほ場抵抗性	やや弱	やや弱
穂いもちほ場抵抗性	弱	やや弱
穂発芽性	やや難	難
高温登熟性	やや強	やや弱

1) 2021～2025年の島根県農業技術センターほ場における成績



つぶきらり コシヒカリ

図 1 玄米の形態

【今後について】

2028 年の ‘つぶきらり’ の一般栽培開始に向け、引き続き関係機関と連携し、新品種の導入・普及に向けた取り組みを進めます。

【重点推進事項】生産性の高い米づくりの確立

【問い合わせ先】栽培研究部作物科